

I O K A C H I

十勝人

地元農産物からヘルシー商品を

十

勝の農産物の高付加価値化を目指す「都市エリア産学官連携促進事業」の科学技術コーディネーターに就任した。一九九六年から二年間、帯広畜産大・地域共同研究センターの客員教授を務めたこともあり、「大学などの基礎研究を商品化してほしい」という思いを語る。

都市エリア産学官連携促進事業の科学技術コーディネーターに就任

佐山 見司さん

「これまで知られていなかった機能性も発見し、十勝の農産物の強みにしたいと考えた。事業の柱の一つとして、ソバや豆類のスプラウト（新芽）生産工場を借り、冬季も含めた活用を創出する。パレイシヨやチーズに関する商品開発も決定している。

「取も風味を持っているのがオカイモ。『安心・安全なだけでなく、どのまうに体に良いか証明して地域に貢献したい』と思っています」といふ。日本甜菜飼料研究所（帯広）の所長を、九四年から八年間務めた。同

「で受けるのは、初年度から高付化していく」と思い詰ま



UETA